SOKEN.SHA
LOVE ‣ FOOD ‣ PEACE

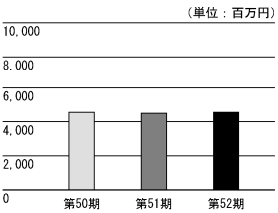
第 52 期

事業報告書

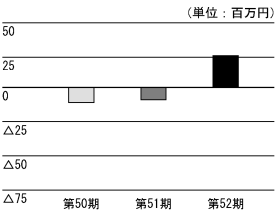
2018年４月１日から
2019年３月31日まで

決算ハイライト

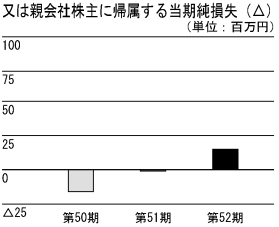
売上高



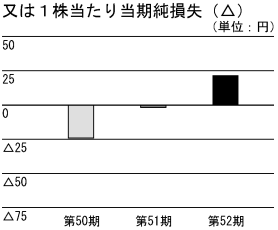
経常利益又は経常損失（△）



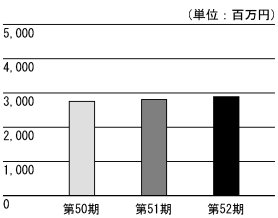
親会社株主に帰属する当期純利益
又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）



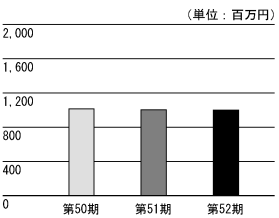
１株当たり当期純利益
又は１株当たり当期純損失（△）



総資産



純資産



（注）2017年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施しております。第50期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して１株当たり当期純損失を算定しております。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、第52期（2018年４月１日から2019年３月31日まで）の決算が終了し、事業報告書を作成いたしましたので、茲にお届け申し上げます。
食品業界におきましては、食の安全・安心に対するニーズが高まる中、当社グループは、「地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する。」という創健社の企業理念の下、食の更なる信頼を目指し、国民の健康増進のため一同全力を尽くしてまいります。

当連結会計年度（2018年４月１日～2019年３月31日）におけるわが国経済は、政府・日銀による継続的な経済対策や金融政策の効果から企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復がみられる一方、世界的な貿易摩擦の影響などがあり、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。
当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、天候不順や相次ぐ自然災害による原材料の高騰や人手不足を背景とする物流費の上昇、さらには消費者の節約志向などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。
このような経営環境の下、当社グループは、これまでの経験を基に、より改善に努め、「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第４次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（2017年４月１日から2020年３月31日まで）を作成しました。その２年目となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全と、オーガニック市場への関心について大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、新たに始めたオープンイベントへの参加が定着し当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。また、これまでに蓄積した多くのデータをさらに詳細に分析を行い、今後注力するチャネルを絞り込み具体的な行動を起こす段階に入りました。
当連結会計年度における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「油脂・乳製品」が、マーガリン等の売上減があったものの、えごま油等の売上増により前連結会計年度比６０百万円増（９．３％増）の７億９百万円、「副食品」が、ピーナッツスプレッド等の売上減があったものの、さば缶詰等の売上増により前連結会計年度比５６百万円増（５．９％増）の１０億１９百万円、「乾物・雑穀」が、パン粉等の売上減があったものの、有機国内産小麦粉等の売上増により前連結会計年度比５百万円増（１．８％増）の３億１７百万円となりました。しかしながら、「嗜好品・飲料」が、カシューナッツ等の売上増があったものの、五穀茶等の売上減により前連結会計年度比５７百万円減（６．６％減）の８億４百万円、「その他」が、ひざ掛け毛布等の売上増があったものの、虫よけスプレー等の売上減により前連結会計年度比１０百万円減（８．２％減）の１億２０百万円、「栄養補助食品」が、新商品ビタミンＣ等の売上増があったものの、キダチアロエ等の売上減により前連結会計年

度比８百万円減（４．６％減）の１億８４百万円、「調味料」が、前連結会計年度とほぼ同等の１３億８８百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、４５億４３百万円（前連結会計年度比４３百万円増、１．０％増）となり、売上総利益率２５．４％と前連結会計年度とほぼ同率となりました。販売費及び一般管理費は１１億２８百万円（前連結会計年度比２９百万円減、２．６％減）となり、営業損益につきましては、営業利益２３百万円（前連結会計年度は、営業損失１４百万円）となり、経常損益につきましては、経常利益２６百万円（前連結会計年度は、経常損失９百万円）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益は、１５百万円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純損失１百万円）となりました。

今後の事業戦略

第４次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（2017年４月１日から2020年３月31日まで）の３年目となります翌連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全とオーガニック市場に関心がさらに高まる中、当市場においても大手食品企業の参入が始まり、ますます競争が激しくなっております。当社といたしましては、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成させるために、以下の施策に役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

①さらなる情報の透明化

食に求める価値観が多様化している昨今、当社グループはトレーサビリティの一層の強化を果たすため、生産者の顔が見えるストーリーのある商品を開発し、ホームページ等での情報開示を通して、消費者が当社グループブランド商品を安心して選択して頂けるよう努めてまいります。

②リ・ブランディング

消費者が求める商品の提供を、積極的に行ってまいります。「分かる人のみに伝わればいい」という考えではなく、企業理念（地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する）を幹とし、商品ごとに分かりやすく明確にした基準を設け、新商品の開発に努めてまいります。同時に女性会議から提案のありました「創健社ロゴマーク」の統一及び配置位置の統一を進めてまいります。

③女性社員（女性会議）のさらなる活用

当社の認知度、好感度を上げ、当社ファンとなる購買層を増やしていくためにも、食への関心が強く、情報に敏感である20代、30代の女性消費者を主だったターゲットとしたブランドシリーズを女性社員を中心に立ち上げ、それを入口として、最終的には当社商品全般への購買に繋げることを目指してまいります。

④生産者及びメーカーとの連携強化

当社グループブランド商品を高品質で安定的に供給するためには、多品種に共有可能な原料の調達が重要になってまいります。日本の一次産業に貢献するためにも生産者及びメーカーとの連携を強化し、他社と一線を画した商品を提供する所存でございます。

⑤注力チャネルの強化

量販店チャネルにおきましては、中小規模チェーン店、質販店、専門小売チェーン店に注力してまいります。生協宅配、Eコマースチャネルにおきましては、インターネット販売の拡大及び特別企画の提案に注力してまいります。異業種チャネルにおきましては、新たな女性顧客の獲得を目指し、ライフスタイル提案型店に注力してまいります。

⑥ジロロモーニブランドの再拡売

ジロロモーニ商品の中心である「有機パスタ」は発売以来10余年に渡りお客様からのご支持を頂いております。そのお客様への感謝の意を込めて、製造元であるイタリアのジロロモーニ農業協同組合と協議を重ね、よりお求めやすい価格でご提供させて頂きジロロモーニシリーズの再拡売を目指してまいります。全世界共通パッケージの導入を機に日本でのパッケージリニューアルも順調に進めております。「有機パスタ」を中心にジロロモーニの差別化を強調し、プロ好みの仕様を活かして業務用の販売にも注力してまいります。その一環として提携しております「アーペ クチーナ ナチュラーレ」は、東京大学駒場リサーチキャンパス内の自然あふれる開放的な空間で、素材にこだわったおいしいオーガニック料理を楽しむことが出来るレストランです。このようなレストランとの連携も積極的に進めてまいります。

⑦当社グループブランド商品の輸出増加

メイド・イン・ジャパンへの信頼性に応え、アジア市場での販売を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年６月

代表取締役社長　中村　靖

主要商品の状況

当社グループの事業は単一セグメントであり、当連結会計年度の販売及び仕入実績をセグメントごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別主要商品販売構成

品目別	前連結会計年度 （自　2017年４月１日 至　2018年３月31日）		当連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）			主要商品
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	前連結 会計年度比	
油脂・乳製品	649,120	14.4	709,225	15.6	9.3%増	マーガリン・べに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調　味　料	1,389,819	30.9	1,388,295	30.6	0.1%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	861,928	19.2	804,623	17.7	6.6%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	312,089	6.9	317,713	7.0	1.8%増	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび
副　食　品	962,481	21.4	1,019,158	22.4	5.9%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ（冷凍）・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	193,023	4.3	184,157	4.0	4.6%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ（ハーブ系青汁）
そ　の　他	131,511	2.9	120,736	2.7	8.2%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合　　計	4,499,975	100.0	4,543,912	100.0	1.0%増	－

品目別主要商品仕入構成

品目別	仕入高（千円）	構成比（%）	前連結会計年度比
油脂・乳製品	535,257	15.9	4.7%増
調味料	1,037,729	30.8	0.5%減
嗜好品・飲料	606,589	18.0	8.7%減
乾物・雑穀	260,562	7.7	2.2%増
副食品	689,002	20.5	6.2%増
栄養補助食品	127,737	3.8	6.3%減
その他	109,794	3.3	4.2%減
合計	3,366,672	100.0	0.2%減

連結財務諸表

連結貸借対照表

（2019年３月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	**2,384,666**	**流動負債**	**1,145,628**
現金及び預金	1,332,632	支払手形及び買掛金	554,943
受取手形及び売掛金	762,385	短期借入金	452,955
商品及び製品	244,982	リース債務	10,283
仕掛品	134	未払法人税等	15,443
原材料及び貯蔵品	27,186	賞与引当金	19,533
その他	19,299	その他	92,468
貸倒引当金	△1,953	**固定負債**	**747,823**
固定資産	**509,355**	長期借入金	389,948
有形固定資産	**203,461**	リース債務	28,239
建物及び構築物	56,010	繰延税金負債	1,758
土地	88,371	役員退職慰労引当金	102,600
リース資産	35,963	退職給付に係る負債	183,920
建設仮勘定	306	その他	41,356
その他	22,809	**負債合計**	**1,893,451**
無形固定資産	**7,061**	純資産の部	
その他	7,061	**株主資本**	**996,527**
投資その他の資産	**298,831**	資本金	920,465
投資有価証券	77,505	資本剰余金	45,965
保険積立金	188,756	利益剰余金	41,188
その他	34,373	自己株式	△11,091
貸倒引当金	△1,803	**その他の包括利益累計額**	**4,043**
		その他有価証券評価差額金	4,043
		純資産合計	**1,000,570**
資産合計	**2,894,022**	**負債純資産合計**	**2,894,022**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（2018年４月１日から
2019年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	
売上高		**4,543,912**
売上原価		**3,391,885**
売上総利益		**1,152,027**
販売費及び一般管理費		**1,128,482**
営業利益		**23,544**
営業外収益		
受取利息	96	
受取配当金	1,658	
仕入割引	3,284	
破損商品等賠償金	605	
その他	1,688	7,333
営業外費用		
支払利息	4,656	
その他	0	4,656
経常利益		**26,221**
特別利益		
固定資産売却益	4	
保険解約返戻金	346	
受取保険金	1,893	2,244
特別損失		
固定資産除却損	389	
保険解約損	108	497
税金等調整前当期純利益		**27,968**
法人税、住民税及び事業税		12,951
当期純利益		**15,017**
非支配株主に帰属する当期純利益		－
親会社株主に帰属する当期純利益		**15,017**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（2018年４月１日から
2019年３月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	920,465	45,965	33,169	△11,091	988,508
当期変動額					
剰余金の配当			△6,997		△6,997
親会社株主に帰属する当期純利益			15,017		15,017
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					－
当期変動額合計	－	－	8,019	－	8,019
当期末残高	920,465	45,965	41,188	△11,091	996,527

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	15,988	15,988	1,004,497
当期変動額			
剰余金の配当			△6,997
親会社株主に帰属する当期純利益			15,017
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11,945	△11,945	△11,945
当期変動額合計	△11,945	△11,945	△3,926
当期末残高	4,043	4,043	1,000,570

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸　借　対　照　表

（2019年３月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
資産の部		**負債の部**	
流動資産	**2,312,310**	**流動負債**	**1,110,875**
現金及び預金	1,293,525	支払手形	30,874
受取手形	9,993	買掛金	513,381
売掛金	739,209	短期借入金	300,000
商品	242,092	１年内返済予定の長期借入金	139,996
貯蔵品	8,690	リース債務	6,343
前払費用	7,302	未払金	60,206
立替金	12,178	未払費用	4,851
その他	1,265	未払法人税等	14,357
貸倒引当金	△1,947	預り金	10,568
固定資産	**510,912**	賞与引当金	18,463
有形固定資産	**161,023**	その他	11,832
建物	49,542	**固定負債**	**698,006**
構築物	10	長期借入金	366,343
車両運搬具	9,570	リース債務	11,897
工具、器具及び備品	6,055	繰延税金負債	1,758
リース資産	79,033	退職給付引当金	178,654
土地	16,503	役員退職慰労引当金	102,600
建設仮勘定	306	長期預り保証金	36,753
無形固定資産	**7,052**	**負債合計**	**1,808,882**
ソフトウエア	2,793	**純資産の部**	
電話加入権	1,279	**株主資本**	**1,010,297**
その他	2,980	資本金	920,465
投資その他の資産	**342,836**	資本剰余金	45,965
投資有価証券	77,505	資本準備金	32,130
関係会社株式	44,110	その他資本剰余金	13,835
出資金	15	利益剰余金	54,930
従業員長期貸付金	807	利益準備金	3,500
破産更生債権等	1,303	その他利益剰余金	51,430
差入保証金	29,288	別途積立金	20,000
会員権	2,071	繰越利益剰余金	31,430
保険積立金	188,756	自己株式	△11,063
長期前払費用	782	**評価・換算差額等**	**4,043**
貸倒引当金	△1,803	その他有価証券評価差額金	4,043
資産合計	**2,823,222**	**純資産合計**	**1,014,340**
		負債純資産合計	**2,823,222**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損　益　計　算　書

（2018年４月１日から
2019年３月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	
売上高		**4,446,540**
売上原価		**3,329,128**
売上総利益		**1,117,412**
販売費及び一般管理費		**1,099,679**
営業利益		**17,732**
営業外収益		
受取利息	96	
受取配当金	1,658	
仕入割引	3,284	
破損商品等賠償金	577	
業務受託手数料	840	
その他	1,566	8,023
営業外費用		
支払利息	4,067	
その他	0	4,067
経常利益		**21,688**
特別利益		
固定資産売却益	4	
保険解約返戻金	346	
受取保険金	1,893	2,244
特別損失		
固定資産除却損	0	
保険解約損	108	108
税引前当期純利益		**23,823**
法人税、住民税及び事業税		11,864
当期純利益		**11,958**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

（2018年４月１日から
2019年３月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	920,465	32,130	13,835	45,965	2,500	20,000	27,469	49,969
当期変動額								
剰余金の配当							△6,997	△6,997
利益準備金の積立					1,000		△1,000	－
当期純利益							11,958	11,958
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	－	－	1,000	－	3,961	4,961
当期末残高	920,465	32,130	13,835	45,965	3,500	20,000	31,430	54,930

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△11,063	1,005,336	15,988	15,988	1,021,325
当期変動額					
剰余金の配当		△6,997			△6,997
利益準備金の積立		－			－
当期純利益		11,958			11,958
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		－	△11,945	△11,945	△11,945
当期変動額合計	－	4,961	△11,945	△11,945	△6,984
当期末残高	△11,063	1,010,297	4,043	4,043	1,014,340

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主ご優待制度のご案内

株主の皆様へ日頃のご支援にお応えするとともに、当社商品のご利用を通じて、事業内容をより一層ご理解頂くため、３月31日の最終株主名簿に記録された皆様に下記商品を贈呈しております。

株式保有数	優待内容
100株～199株	3,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａセット）
200株～299株	6,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａ＋Ｂセット）
300株以上	10,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Ａ＋Ｂ＋Ｃセット）

ご参考

2019年７月初旬にお届けする商品です。

（Ｃセットは申込用ハガキを送って頂き、11月頃にお届けいたします。）

Ａセット

Ｂセット

Ｃセット

「Ａセット」

べに花一番　高オレイン酸　600ｇ

オレイン酸を豊富に含むべに花種子を、化学溶剤を使用せず自然な圧搾製法で搾った一番しぼりべに花油。栄養機能食品（ビタミンＥ）。1972年の発売以来守り続けている缶容器は、中の油を光と外の空気から守り（酸化による品質の劣化を防ぎ）フレッシュさを保ちます。よりお使い頂きやすくするため、おなじみの角型缶から注ぎ口付の丸型缶にリニューアルしました。

ジロロモーニ　デュラム小麦　有機スパゲッティ　500ｇ

有機栽培デュラム小麦を粗挽き（セモリナ）し、風味、おいしさ、そして、栄養素を壊さないようじっくり時間をかけ低温乾燥しました。小麦本来の味と香り、強いコシをお楽しみ頂けます。イタリア有機農業の父と呼ばれたジーノ・ジロロモーニさんが造り上げた逸品です。

有精卵クリーミーチリドレッシング　180ml

九州久住高原の豊かな環境で平飼いされたニワトリたちの大切なタマゴを使った、有精卵マヨネーズの姉妹品。マイルドなスパイス感のある、メキシカンテイストのピリ辛ドレッシングです。

ベジとんこつ風ラーメン　100ｇ

国内産小麦粉を100％使用したノンフライ麺に、豆乳仕立てのコクうまスープと併せて、植物素材のみでとんこつラーメン風に仕上げました。

国産もち麦・はと麦御飯の素　110ｇ

あたたかいご飯にまぜるだけ。国内産の素材（舞茸・人参・もち麦・はと麦・押麦（大麦）・発芽玄米）を具材に、かつお、昆布の風味豊かな和風だしで仕上げたあとまぜタイプの御飯の素です。２合用（２～３人前）

えごま一番マヨネーズ　205ｇ

圧搾しぼりの「えごま一番」を使用した卵黄タイプのあっさりまろやか風味のマヨネーズです。約大さじ１杯（15ｇ）あたり、オメガ３（ｎ－３系）脂肪酸のα－リノレン酸が2.4ｇ含まれています。

五穀ドライワッフル　８枚

五穀として小麦粉、はと麦粉、大麦粉、ひえ粉、アマランサス粉をブレンドした生地を、香ばしく焼き上げたドライワッフルです。（個包装）

「Ｂセット」

春夏秋冬のだしの素　糖質50%オフ　500ml

30年以上のロングセラー「春夏秋冬のだしの素」の旨味そのまま糖質50％オフ（従来品比）。本醸造「金笛醤油」をベースとして、鰹節、昆布、しいたけのだしを生かしたつゆです。

米粉でつくった本格カレールウ　中辛　135ｇ

国内産米粉でつくった植物素材100％の本格カレールウ。ラードや牛脂、動物性のブイヨン・エキスなど動物性原料は一切使用しておりません。１袋６皿分です。

パンケーキ　ネオハイミックス　砂糖使用400ｇ

国内産小麦粉に焙煎小麦胚芽のまろやかな甘みと香ばしさをプラス。小麦本来のおいしさを追求したミックス粉（砂糖使用）。アルミニウムフリーのベーキングパウダー使用。

国内産さとうきび100%使用　さらさら粗糖　200ｇ

国内産（南西諸島産）のさとうきび原料を100％使用し、職人が釜で焚き上げ、細かく粉砕したさらさら・粉末タイプのお砂糖です。

地中海の天日塩　さらさら type　200ｇ

南イタリア（プーリア州）の海水を現地で長時間かけて太陽と熱の力で結晶化させた天日塩（地中海の天日塩）を使いやすいさらさらタイプに仕上げました。まろやかな旨みが特長です。和洋中どんなお料理にも。

有機ピザソース　180ｇ

南イタリア産有機栽培トマトを100％使用。まろやかで口あたりの良い甘みが特長の有機ピザソースです。

国産全粒粉入りらーめん　魚介醤油味　110ｇ

国内産小麦粉に国内産全粒粉をバランスよくブレンドしたノンフライ麺に、本醸造醤油にさば・煮干しなどの魚介の旨みを合わせた香り高い魚介醤油味のらーめんです。

国産原料100%　海の幸せふりかけ　25ｇ

９種の国産海の幸（たら・かつお・オキアミ・いか・わかめ・青のり・鮭・ほたて・磯のり）をバランスよくブレンドした、磯の香りあふれるふりかけです。国産白ごま入り。

「Ｃセット」

1）自然農法で栽培されたこだわりの新米２Kg×２袋　つや姫
2）自然農法で栽培されたこだわりの新米２Kg×２袋　ゆめぴりか
3）自然農法で栽培されたこだわりの新米２Kg×２袋　こしひかり
4）創健社のチョコレート詰合せ（ビッグアーモンドチョコ等６商品）

1）～4）の中から１つ選んで頂きます。

また、当社商品は特定の原材料を用いる事が多い事から、原材料の調達の都合により株主優待商品がご案内と異なる事がございます。どうかご理解ご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

会社概要

商　号	株式会社　創健社
英訳名	Sokensha Co.,Ltd.
所在地	〒221-8741 横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号 TEL(045)491-1441
設　立	1968年２月５日 (証券コード：7413)
資本金	９億2,046万５千円
決算期	３月31日(年１回)

取締役 (2019年６月27日現在)

地　　位	氏　　名
代表取締役社長	中　村　　靖
常務取締役	岸　本　英　喜
取締役	山　田　一斗資
取締役	飯　田　雅　之
常勤監査等委員	藤　川　清　士
監査等委員	鈴　木　久　衛
監査等委員	合　田　真　琴

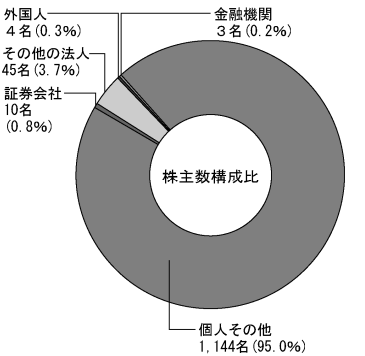
株式の状況 (2019年３月31日現在)

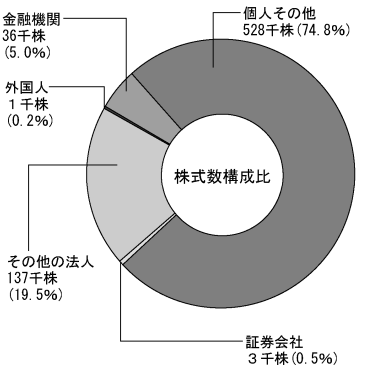
発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式の総数	705,500株
一単元の株式数	100株
株主数	1,206名

大株主 (2019年３月31日現在)

株　主　名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村　靖	84	12.03
中村　澄子	78	11.17
創健会（取引先持株会）	63	9.10
太田油脂株式会社	59	8.43
株式会社横浜銀行	31	4.52
有限会社タカ・エンタープライズ	19	2.80
原田　こずえ	18	2.71
創健社従業員持株会	16	2.39
月島食品工業株式会社	12	1.85
日清オイリオグループ株式会社	12	1.78

（注）　持株比率は自己株式（5,715株）を控除して計算しております。





株式会社創健社
横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
TEL045(491)1441(代)　〒221-8741

株主メモ

事業年度	４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月に開催
基準日	定時株主総会の議決権　３月31日 期末配当　３月31日 ※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町１－１ 電話　0120-232-711（通話料無料） 〔受付時間９:00～17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）〕 郵送先　〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 ホームページ　https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード）
公告方法	電子公告により行います。 http://www.sokensha.co.jp/company/ ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 なお、当社の貸借対照表並びに損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

（株式に関するお手続き）

１．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。

２．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社）にお問合せ下さい。

３．マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。株主様は口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）へマイナンバーをお届出下さい。

VEGETABLE OIL INK